

授業科目 精神医学

【担当教員名】 櫻井浩治	対象学年 2	対象学科 理学
	開講時期 前期	必修・選択 必修
	単位数 2	時間数 30

<教育目標：G I O>

精神の異常の多面性と発祥因の複雑さを知ることで、精神障害の正しい理解と精神障害者への偏見を無くすことを図り、もって専門職としての活動に役立たせる。

<行動目標：S B O>

- 1 精神に関連した脳の働きについて理解する
- 2 精神異常の状態像を正確に把握できる。
- 3 精神障害の治療について理解する。
- 4 精神障害者の対応の仕方を身に付ける。
- 5 精神障害者の人権のあり方と処遇について知る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法又は備考・担当教員
1～4	I 総論 ①精神とは何か 精神を構成するもの ②精神の異常とは 心理テストと脳波 ③精神の異常はどのように現れるか 知的作業の異常・情動の異常・意志の異常・行動の異常・意識の異常・感覚の異常・人格の異常 ④精神の異常の原因と症状の把握の仕方	1、2、3、4、5	講義：櫻井 1～14回
5～12	II 各論 (1)原因別に因る精神障害と治療 ①脳に直接障害があつて生じたもの 精神発達遅滞・痴呆・局所症状・意識障害 ②身体に基礎付けられた精神障害 薬物、中毒性精神障害・代謝性・内分泌性障害・膠原病性精神障害 ③心理的原因により生じるもの 神経性一とらわれの障害・心因反応性精神障害・心因反応性身体障害 ④人格の障害・行動異常⑤睡眠障害		
13～14	(2) 精神障害者の処遇 ①入院と法 ②精神病院の構造		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	精神医学テキスト	上島国利	南江堂	2000年 本体4200円
参考書	図説臨床精神医学講座全7巻	島藺安雄・他	メヂカル・ユ-社	1988年
その他の資料	プリント			

【評価方法】 期末テストによる	【履修上の留意点】 テキストとプリントを併用する 私語で周囲の邪魔をしないこと。
--------------------	--